

市政について  
問う！

「個人質問」  
一般質問  
第四回（二月）定例会  
では、六人の議員が市政  
について質問しました。

議員名	主な質問項目	掲載頁
小泉 宣子	本市の防災・減災対策、奨学金返還支援制度、芸術文化の振興	8
浅田美重子	避難所運営、女性参画、障がい者の自立支援、障がい者就労	8
渡部一二実	視覚障がい者対応、改正動物愛護法準拠と高齢飼養者対応	9
小澤 隆	電子申請、自衛隊装備の把握	9
山下富美子	第一・第二中学校区の統合、災害リスク、液状化危険大	9
高橋 秀子	福祉避難所、避難所外避難者に対する支援、遺体安置所	9

※議員名の下にQRを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像が視聴できます。

※文面中の波線（~~~~）については、P.10の用語解説を御覧ください。

全ての質問項目（通告一覧）はこちら



誰もが安心して利用できる  
避難所運営に向けた取組は

**問** 誰もが安心して利用できる避難所の運営に向けて、①衛生用品の備蓄状況は。②プライバシーや安全確保の取組は。③女性の避難所運営への参画の現状と認識は。

**答** **危機管理監**／①衛生用品については、国のプッシュ型支援が発災から四日目に開始されることに合わせ、想定される避難者数の三分を備蓄し、衛生面にも配慮しながら適切に管理している。②ワンタッチパーテーションや、外部からの見通しを遮断できるテント型製品を各避難所に配備し、プライバシーの確保に配慮

しているほか、避難所における警備・警戒活動等の支援協力について警備会社と協定を締結するなど、避難者が安心して避難所生活を送れる体制を取っている。③女性の避難所運営における役割の重要性が高まっていることから、自主防災会における女性役員割合は増加傾向である。また、避難地配備職員の女性割合は約三割を占めており、配置の平準化により女性目線の環境づくりに努めている。今後も多様な視点での避難所運営が円滑に行えるよう取り組んでいく。

浅田 美重子



乳児用液体ミルクを  
災害備蓄品として整備する考えは

**問** 乳児用液体ミルクを災害備蓄品として整備する考えは。

**答** **危機管理監**／災害時の備蓄は、各家庭の状況に応じ自ら準備することが基本だが、液体ミルクを備蓄品として整備する自治体も徐々に増えてきている。しかし、液体ミルクの備蓄は、短期間で更新が必要となるため、保管場所の確保やコスト面等の課題も含め検討していく。

**問** 子ども版沼津市芸術祭を開催する考えは。

**答** **教育次長**／子ども版沼津市芸術祭の開催は、子どもたちが芸術・文化の開催は、子どもたちが芸術・文

化に興味を持つきっかけとなり、情操を育み健全育成に資するものである。また、子どもたちが将来、芸術祭へ参加するきっかけとなるほか、世代を超えた本市の芸術・文化の活性化にもつながるものと認識している。今後は、市内で活動する文化芸術団体の意見を聴取し、開催について検討していく。

小泉 宣子



▲第50回沼津市芸術祭（芸術祭茶会）